



令和元年一学期終業式 「一学期を振り返って！」

「平成」から「令和」に元号が変わった一学期でしたが、ずいぶん前のことのように感じます。

保護者の皆様、地域の皆様には、西中学校の教育活動にご理解ご協力を賜り、大変お世話になりました。

さて、一学期の生徒は、どのような成長があったのでしょうか。

1. あいさつ

明るくさわやかなあいさつができる。特に、来校者へのあいさつが評判が良い。

2. 地域貢献

ボランティアや清掃活動に積極的に取り組む。仕事を見つけて黙々と取り組む。

3. 共感・感謝・思いやり

人は皆、顔が違うようにいろいろな悩みを抱えて生きている。そんな仲間に共感し、思いやりと共に生きている。本当に優しい生徒ばかり。天使用のよう。

4. ねばり強い・困難に負けない

中体連の大会結果は、新人大会より春季大会、春季より総体と成績が向上している。負けた試合を見ても、一秒でも速く、一点でも多く、決して最後まで試合を投げない。諦めない。

5. 常に前向きで向上心がある

勉強でも部活動でも、常に前進しようと努力し、自分自身を信じて諦めず、自分をステージアップしようと努力している。

「西中ブランド」

（礼儀・時間・身だしなみ）は、保護者・地域・関係機関はもちろん、西部管内の教育関係者には広く知られるようになり



ました。その理由として、部活動で大会に参加すると【きびきびとした行動】【元気なあいさつ】【きちんとした服装】などが中学生ら

しく清潔感ある行動だと評価されるからです。また、

ボランティア活動に参加した生徒は、「仕事を一つ一つ「働く」という気づきの心があるからです。」



一学期の教育活動は、おおむねよい評価を与えることができると思います。これからも『西中ブランドの勇猛邁進』を推し進めて、社会に貢献できる人材に成長するよう支援していきたいと思えます。夏休みからは、西中ブランド戦略として、高校の先生方にも、西中ブランドの言葉とともに西中生の良さを伝えて行く作戦です。

三年生にとって、一学期からは、進路に向けて努力することになります。高等学校の入試説明会や体験入学を通して、西中ブランドをさらに広めて、「ぜひうちの高校に入学してもらいたい」と言われるよう宣伝してまいりたいと思えます。

郡市中体連総合体育大会



いよいよ夏の大会が始まりました。

3年生にとっては最後の大会となります。これまで、顧問の

先生や外部指導の方にお世話になり、熱心に部活動に取り組んできました。自己ベストや勝利を目指して最後まで戦い抜いて欲しいと思います。

それでも、これまで築いてきた仲間との絆やチームワークは大切な宝物として、心に刻んで欲しいと思います。

郡市中体連総合体育大会は、7月6日(土)のテニス(個人)とハンド、7日(日)の卓球(個人)をスタートに、13日(土)には、バスケット、ハンド、テニス(団)、陸上、そして、

15日(月)には、野球、卓球(団)が開催されました。

この通信は、19日(金)終業式に発行しましたので、20日(土)以降の大会結果は掲載できません。したがって、これをご覧になっている頃は、すべての結果がでているのですが、この紙面では、すべての部活動の結果を報告することができません。学校 web ページ等でご確認いただければ幸いです。

総体の結果 (一部途中経過)

軟式野球部

初戦 ②-1 vs 富岡東中
準決は、21日(日)、北部野球場 vs 甘楽中

ハンドボール部 男子 優勝

準決 24-19 vs 富岡南中

決勝 27-17 vs 甘楽中
ハンドボール部 女子

初戦 11-37 vs 甘楽中
男女とも、県大会は、7月29・28・30日、北部体育館にて開催されます。

バスケットボール 男子

初戦 64-46 vs 富岡中
準決勝 32-77 vs 富岡南中
3位決定戦が、20日(土)に、妙義体育館にて、開催されます。

バスケットボール 女子

初戦 38-70 vs 富岡中
試合時間残りわずか、36対70で負けている状況でも、最後まで諦めない女子バスケット部の選手たち、最後の攻撃で放ったシュートがリングに吸い込まれた瞬間、高々とガッツポーズの伊早坂さん。そしてゲーム終了の笛が鳴り、3年生の夏は終わりました。見ていた私はとても感動した瞬間があります。点数の差があり敗戦濃厚な状況にもかかわらず、あのガッツポーズは、中学生らしい爽やかな姿だったからです。試合終了後に全員で流した涙も、人生の糧になることでしょう。2年半の部活動を通じて大きく成長した証だと思います。



今年度の目指す生徒像として、「どんな困難な状況に陥っても、最後まで諦めず全力を尽くす生徒」を掲げてきました。まさに、それを実践してくれた女子バスケット部です。他の部活動でも、同じように最後まで全力で戦い抜いた生徒たちばかりだと、顧問の先生から報告を受けています。まさに、西中生らしい戦いに、とても嬉しい気持ちになりました。

陸上競技部

成績 1位 入賞者

1年男子 100m	太田朝陽	13"16
2年男子 100m	石井瑛雄	11"85
共通男子 200m	横田陽哉	24"48
共通男子 400m	相川裕太	56"23
共通男子 800m	横田陽哉	2'09"50
共通男子 3000m	瀬間元輔	9'51"97
共通男子 4×100mR		48"80
相川裕太・横田陽哉・飯野天太・石井瑛雄		
3年女子 100m	月田凧海	13"38
共通女子 200m	月田凧海	27"92
共通女子 100mH	黛 月菜	16"22
共通女子 4×100mR		53"11
小菅はるか・月田凧海・岩井りの・黛月菜		
共通女子走高跳	黛 月菜	1m50cm

成績 2位 入賞者

3年男子 100m	相川裕太	12"17
共通男子 1500m	黛 春樹	4'30"88
2年女子 100m	小菅はるか	13"73
共通女子 100mH	岩井りの	18"03
共通女子走幅跳	岩井りの	4m65cm

成績 3位 入賞者

1年男子走幅跳	太田朝陽	4m53cm
---------	------	--------

男子総合 成績 第2位 26点

女子総合 成績 第1位 21点

卓球部

男子 団体戦

初戦 1-③ 妙義中

女子 団体戦

初戦 0-③ 下仁田中

男子 個人戦

優勝 小柴 琉伊

テニス部

男子 団体戦

初戦惜敗 0-③ vs 富岡中

女子 団体戦

初戦惜敗 1-② vs 甘楽中

男子 個人戦

ベスト8 小嶋・今井組

女子 個人戦

ベスト16 ニツ橋・松田組

水泳部

県中学校春季選抜水泳競技大会 6/29

男子 100m 背泳ぎ 小倉遼真

16位 1'11"95

男子 200m 背泳ぎ 小倉遼真

13位 2'34"68

県総体と関東大会の標準記録は、

男子 100m 背泳ぎ 1'12"54

男子 200m 背泳ぎ 2'37"25

女子 100m 平泳ぎ 神戸美空

6位 1'20"11

女子 200m 平泳ぎ 神戸美空

6位 2'50"91

県総体と関東大会の標準記録は、

女子 100m 平泳ぎ 1'28"11

女子 200m 平泳ぎ 3'07"36

甘楽富岡中体連総合体育大会

7/20(土)

バスケ(妙義) 柔道(北部柔道場)

バレーボール(甘楽中)

7/21(日)

軟式野球(北部) 剣道(妙義体育館)

7/22(月)

軟式野球(北部)

群馬県西部地区吹奏楽コンクール

7/27(土) 群馬音楽センター

インターネットアンケート結果 ネット利用と学力!

インターネットの普及は、人間の想像を遙かに越えて、私たちの生活には切り離せないものとなっています。

インターネット利用の調査を始めてから3年目になりますが、今年度六月の調査結果をお伝え致します。

- 一. 全学年の生徒の半数が毎日インターネットを利用している。 約49%
- 二. 毎日平均一〜二時間の利用 約37%
- 三. インターネットを利用しての機器は自分専用のものが半数を占めている。
- 四. 自分専用の機器とは、携帯ゲーム機が最も多く、スマートフォンも増加傾向。
- 五. LINEの使用状況は、減少傾向にある。生徒の半数は利用していない。 一年生では、72%が利用していない。
- 六. オンラインゲームの利用時間、全生徒の半数は、利用していないが、逆に半数は利用しており、一日に、一〜二時間が最も多い。中には、三時間以上の強者もいる。
- 七. 動画閲覧サイトの利用時間は、一〜二

時間が最も多く、二年生の利用者が増加している。

動画サイトを二時間以上利用している生徒の期末テストの平均点

248.9点(一年)

214.9点(二年)

192.0点(三年)

動画サイトを利用していない生徒の期末テストの平均点

344.4点(一年)

309.5点(二年)

303.5点(三年)

八. 自分がネット依存症ではないかと感じている生徒が16%おり、増加傾向にある。また、数値では計れないが、ネット依存だと感じていないで、ネットを利用している生徒が、最も危険と考える。

インターネットに限らず、テレビやラジオなどメディアの利用は、禁止できない状態となっている。親や先生、他者がいくら言っても本人が聞く耳を持たない状況ではどうすることもできないのが現実である。

学校では、ネット依存や情報モラルなどの指導や将来の生き方を考えさせたり、健康について考えさせたり、様々な教育を通

して、自分を律する力を育てて、ネット依存の弊害を受けないように支援していきたいと思います。

保護者 各位

「富岡市からのお知らせ」<就学援助制度について>

富岡市では、子供の生活困窮化対策として、法律に基づき、経済的な理由によって就学が困難な児童・生徒の保護者を対象に就学援助を行っています。学用品費や通学用品費、校外活動費、小6・中3の修学旅行費、医療費(う歯、中耳炎、結膜炎など)が援助の対象となります。年度途中からでも対応できますので、申請を希望される方は、担任または富岡市教育委員会にご相談ください。

【学校 62-2017】【富岡市教委(市役所)代表62-1511】